

エスワティニにて2件の無償資金協力に関する書簡の署名・交換を実施

令和6年8月7日エスワティニ王国エズルウィニ市において、牛尾滋日本大使は、エスワティニ経済開発計画省及びWFP エスワティニ事務所との間で2件の無償資金協力事業(令和6年度無償資金協力事業「中等学校整備計画」及び「食糧援助(WFP 連携)」)の書簡を交換しました。日本政府はアフリカの経済発展を支援する無償資金協力として、エスワティニ王国に対し、学校の改善や食糧支援を行うことを約束しました。2つの事業に関する詳細は以下のとおり。

1. 事業名: 令和6年度無償資金協力事業「中等学校整備計画」
計画概要: 4校の中等学校の校舎建設と必要な付属施設の提供
実施機関: JICA
署名者: E.T ギナ経済開発計画大臣
供与限度額: 16億1300万円(1億8000万エマランゲニ)
2. 事業名: 令和6年度無償資金協力事業「食糧援助(WFP 連携)」
計画概要: 未就学児童への日本米914トン、日本産魚缶詰51トン、豆類30トンの食糧援助
実施機関: 世界食糧計画(WFP)
署名者: ディーパック・シャーWFP エスワティニ代表
供与金: 2億円(約2210万エマランゲニ)

「中等学校整備計画」は学校不足を改善し、より多くの子供に質の高い教育機会の提供を目指すものです。また、「食糧援助(WFP 連携)」については恒常的に発生している干ばつや熱波により食糧生産量の減少及び食糧価格の高騰に影響を受けているエスワティニ王国の特に脆弱な環境におかれている子供たちの健康と栄養状態を改善するものであり、飢餓撲滅とあらゆる形態の栄養不良の解消に貢献することを期待します。

同署名式はエスワティニ経済開発計画省が主催し、出席したオーウェン・ヌマロ教育訓練大臣、E.T ギナ経済計画開発大臣、岡田薫 JICA 南ア事務所所長、ディーパック・シャーWFP エスワティニ代表が挨拶を行いました。

